

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	健康福祉総務課
	施策	地域福祉の推進		電話番号	087-839-2372
	基本事業	地域福祉活動の充実		事業実施主体	市
	事務事業	災害援護事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者など（災害時要援護者）に対して災害情報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く安全に行われる体制づくりの推進及び災害が生じた場合の支援等の援護事業		
29年度概要	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者など（災害時要援護者）に対して、災害情報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く安全に行われる体制づくりの推進及び災害が生じた場合の支援等の援護事業		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	


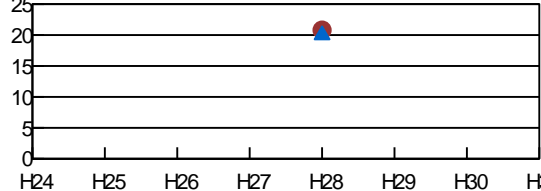
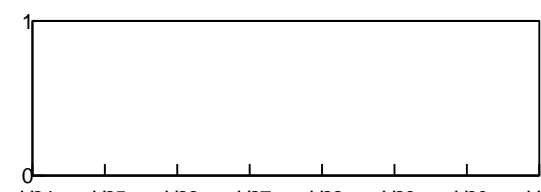
【事業の目的】

対象（何を）	要介護認定3～5の人など災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者の方などの災害時要援護者。
意図（どのような状態にしたいか）	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者の人など（災害時要援護者）に対して、災害情報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く、安全に行われる体制づくりを推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
災害時要援護者新規登録希望調査票発送数	件			4,073		5,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
	災害時要援護者新規登録率	%	目標値			20		20
			実績値			20.8		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 平成28年度における災害時要援護者登録対象者4,073人に対して申請書を送付したところ、849人の登録希望があり、目標値としていた20%を上回る20.8%の登録率を達成した。 							(達成度) 104.0% 35点
								(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	87,543	74,153	37,497	40,908
（事業費）	[円]	73,076	54,577	21,795	25,206
（職員人件費）	[円]	14,467	19,576	15,702	15,702

【評価】

評価ランク (A～D)	<b>A</b>	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	<b>継続</b>
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

災害時要援護者台帳を平時から整備し、地域支援組織と情報共有しているが、28年度から地域コミュニティ協議会と連携して、台帳の登録情報の更新等に関する制度改善の取組を行った。制度改善の取組を継続することで、地域の共助、防災意識を高め、今後、台帳登録率の向上等にもつなげたい。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

要援護者台帳の情報更新に係る制度改善を、地域コミュニティ協議会と連携して継続的に実施していく。